

宗像市議会  
議長 花田 鷹人 様

予算決算第2特別委員会  
委員長 伊達 正信

## 委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

### 記

第59号議案から第66号議案までの8議案は、地方自治法及び地方公営企業法の規定により、平成30年度各会計歳入歳出決算が、監査委員の意見を付けて議会の認定に付されたものである。

### 第59号議案 平成30年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 1,046万5,402円（前年度比 4.2%増）  
歳出決算額 342万4,609円（前年度比55.7%減）  
歳入歳出差引額 704万 793円
- 2 歳出決算額が前年度と比較して減少しているのは、主に減債基金積立金の減少によるものである。
- 3 債権回収業者に1件委託しているが、回収には至っていない。29年度から委託しているが成果が上がっていないため、委託については他自治体の状況を調査しながら来年度に向けて検討していきたい。
- 4 滞納者のうち1件は訴訟に向けて準備をしており、今定例会で議案を上程している。
- 5 30年度中の完済は2件。そのうち1件は償還推進助成制度を活用して清算した。
- 6 借受人本人や保証人も高齢になり、回収が困難な状況も多く対応に苦慮しているが、状況に応じて償還推進助成制度を活用しながら早期解決を図っていきたい。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

### 第60号議案 平成30年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

### 〔事業勘定〕

- 1 歳入決算額 100億9,889万3,314円（前年度比16.1%減）  
歳出決算額 99億6,161万8,614円（前年度比14.4%減）  
歳入歳出差引額 1億3,727万4,700円
- 2 30年度からの県単位化に伴い、歳入では前期高齢者交付金、共同事業交付金、国庫支出金等が皆減し、県支出金が大幅に増加。歳出では共同事業拠出金、後期高齢者等支援金、介護納付金等が皆減し、国民健康保険事業費納付金は皆増している。また、財政規模が歳入歳出ともに20億円程度縮小しているのは、県単位化に伴い高額医療費共同事業が廃止されたためである。
- 3 平成30年11月から実施している訪問歯科健診事業と運動施設利用助成事業について、訪問歯科健診事業は後期高齢者を含めて18人（中断者4人を含む）に対して実施、運動施設利用助成事業は555人の利用があった。
- 4 糖尿病性腎症重症化予防事業について、30年度は委託により宗像医師会管外の医療機関受診者6人に、市・県・福津市・宗像医師会の4者合同で行う事業により宗像医師会管内の医療機関受診者10人に対して事業を実施した。
- 5 保険税の現年度分の収納率は96.86%で、前年度より0.05ポイント減少したが、滞納繰越分も含めた収納率は前年度より0.11ポイント上昇した。
- 6 医療費適正化の取り組みとして、レセプト点検、柔道整復師施術療養費支給申請書の点検強化や頻回受診者への照会文書送付などを行った。また、ジェネリック医薬品の使用促進では、差額通知書の発行やジェネリック希望カードの配布などにより普及率と薬剤費削減額が向上した。

### 〔直営診療施設勘定〕

- 1 歳入決算額 8,507万4,007円（前年度比10.1%増）  
歳出決算額 8,427万4,994円（前年度比10.5%増）  
歳入歳出差引額 79万9,013円
- 2 歳出決算額増加の主な要因は、非常勤任用看護師の退職に伴う看護師派遣業務委託料、医療機器の新規購入に伴う備品購入費、診療所の空調設備更新工事と医師住居の修繕工事に伴う施設整備費が増加したことによるものである。歳入決算額増加の主な要因は、備品購入と空調設備更新を賄うための市債の増加と、歳出増加に伴う繰入金の増加によるものである。

### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

## 第61号議案 平成30年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 16億 86万9,567円（前年度比2.5%増）  
歳出決算額 15億5,354万9,647円（前年度比2.5%増）  
歳入歳出差引額 4,731万9,920円
- 2 歳入決算額及び歳出決算額が増加した要因は、いずれも被保険者数の増加によるものである。30年度の被保険者数は、前年度比で75歳以上が451人増加、一定の障がいがある65歳以上75歳未満が15人増加し、全体では466人、3.5%増となった。

- 3 保険料の現年度分の収納率は99.57%で、前年度より0.11ポイント低下したが、収納課と連携して収納率の向上に取り組んでいる。

#### 【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

### 第62号議案 平成30年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

#### 〔保険事業勘定〕

- 1 歳入決算額 78億3,161万7,832円（前年度比2.0%増）  
歳出決算額 76億2,157万5,938円（前年度比1.6%増）  
歳入歳出差引額 2億1,004万1,894円
- 2 要介護認定率は14.7%と微減している。主な要因は、総合事業の開始などにより要介護認定を受けなくても支援が受けられるようになったこと、また、要介護認定を受けている人が少ない前期高齢者に団塊の世代がいることで分母を広げていることが考えられる。
- 3 介護（予防）給付費の総額は66億2,963万6,638円で、前年度比で8,980万6,645円、1.4%増となっている。給付費の内訳で大きく変動しているのは、利用者のニーズにより地域密着型サービスの地域密着型通所介護から居宅サービスの通所介護に移行したと考えられること、また、施設サービスの介護療養型医療施設から介護老人福祉施設や介護医療院への転換が進んでいることが要因だと考えられる。
- 4 地域支援事業費の利用者負担金等を含んだ事業費総額は、4億8,838万5,985円で、前年度比で1,640万2,426円、3.5%増となっている。大きく増加しているのは包括的支援事業及び任意事業のうち包括的支援事業で、日常生活圏域ごとを担当する地域包括支援センターが30年度に3カ所開設したことをもって全6カ所の委託化が完了したことに伴い、前年度比81.2%増となっている。
- 5 介護（予防）給付費と地域支援事業費を合わせると、71億1,802万2,623円で、前年度比で1億620万9,071円、1.5%増となり、事業費は年々増加している。
- 6 30年度は第7期介護保険事業計画の1年目である。30年度の計画値に対する実績値の比率は91.5%で、第6期の1年目と同程度の比率であるが、消費税率改定による報酬の改定等も行われるため、今後も給付費の伸びに注視していく。
- 7 日常生活圏域に設置された各地域包括支援センターについて、今後は認知度を高めていく必要がある。センター開設時にチラシを全戸配布したり地域行事に参加してPRしたりするなど、様々な場面で地域包括支援センターの紹介を積極的に行っているところである。
- 8 介護予防・日常生活支援総合事業の住民主体による支援である訪問型・通所型サービスBはまだ実施には至っていないが、12地区コミュニティで説明会を実施するなど地域への周知や地域資源の発掘などを行っており、第8期介護保険事業計画に向けて具体的な方向性を議論していきたい。

#### 〔介護サービス事業勘定〕

- 1 歳入決算額 1,258万1,500円（前年度比54.7%減）  
歳出決算額 1,258万1,500円（前年度比54.7%減）  
歳入歳出差引額 0円

- 2 歳入歳出決算額が減少している主な理由は、地域包括支援センターの委託拡大により、宗像市地域包括支援センターの事業が縮小したことによるものである。
- 3 歳入決算額の主なものは、要支援1、2の人に対するケアプラン作成に係る報酬である。歳出決算額の主なものは、ケアマネジャーの人件費や出向職員給与負担金、介護予防給付ケアプラン作成や介護予防ケアマネジメントの委託料である。

#### 【意見】

##### （賛成意見）

- ・人口動態をみると介護施設にも頼れず、また、介護に関わる人員も不足する時代が必ず来ると考えられる。介護にどう関われるのかを住民一人一人が自主性をもって考えなければならない時代に入っていると考える。住民主体のサービスBをこの第7期介護保険事業計画の間に具体的に構築してほしい。
- ・自分が住んでいる地区も、地域が子どもたちやお年寄りの面倒をみるという向こう三軒両隣のつながりがあると思う。宗像ならば、介護についても地域全体でみていくという良いモデルになると信じている。

##### （反対意見）

- ・介護保険制度は、介護を家庭介護から社会的な介護にするという大きな理念で始まったと思うが、現在では、当初掲げた理想が大きく崩されていることが顕著になっており、この介護保険制度でいいのかと強く感じる。介護保険制度は開始当初に立ち戻るべきである。

#### 【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

### 第63号議案 平成30年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに4,961万695円（前年度比1.8%減）。
- 2 介護認定審査会は福津市と共同で設置しており、30年度は16合議体で延べ269回開催した。審査件数は宗像市と福津市の合計で5,859件。構成比率は宗像市60.6%、福津市39.4%である。
- 3 歳出の主なものは、認定審査会の委員報酬と旅費、審査会の判定資料の精査を行う専門職員の人件費に相当する審査会派遣職員負担金である。
- 4 28年度から要介護認定更新申請の全てを対象に認定有効月数が最大24カ月に延長可能となったため、29年度の審査件数が大幅に減少したが、延長された分の審査を30年度に行ったため、審査件数は前年度と比べて増加している。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

## 第 64 号議案 平成 30 年度宗像市渡船事業特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 4億6,843万4,783円（前年度比34.7%減）  
歳出決算額 4億6,843万4,783円（前年度比33.0%減）  
歳入歳出差引額 0円
- 2 30年度の乗客数は大島航路、地島航路合わせて30万8,120人で、前年度比6.5%減となった。この理由は、世界遺産登録が決定した29年度に比べて旅行会社のツアーが減少したことや夏季休暇時に猛暑日が続いたことなどが影響していると考えられる。また、車両の航送台数は9,611台で、前年度比9.4%減となった。この理由は、29年度は旅行会社のマイクロバスの利用が多かったが、30年度はその動きが落ち着いたことによるものと考えられる。
- 3 ニューじのしまの船舶更新も含めた航路再編に係る調査など安全で持続可能な航路運営を行うため、30年度に航路改善協議会を立ち上げ航路改善計画を策定した。なお、この計画策定に係る経費の全額は国庫補助金の対象である。
- 4 船員の確保について、来年3月の船長の定年退職を見越し、技術の低下を防ぐために1年前倒しで正規船員を1人採用した。また、今後の船員の定年退職に備え、前倒しでの正規船員の採用について人事課と協議中である。加えて、退職する船員の再任用についてもできる限り依頼していく。

### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

## 第 65 号議案 平成 30 年度宗像市漁業集落排水処理施設事業特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 4億7,103万4,064円（前年度比52.2%増）  
歳出決算額 4億7,078万5,079円（前年度比52.4%増）  
歳入歳出差引額 24万8,985円
- 2 歳入決算額増加の主な要因は、鐘崎処理場の中継ポンプ場化に係る工事や大島処理場の改築工事等により国庫補助金と市債が増加したことによるものである。歳出決算額増加の主な要因は、鐘崎地区の圧送管築造工事や大島処理場改築工事等による漁業集落排水施設建設費が増加したことによるものである。
- 3 下水道使用料収入は3,632万1,956円で、収納率は96.8%、前年度比0.9ポイント上昇した。

### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

## 第 66 号議案 平成 30 年度宗像市下水道事業会計決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

#### 1 収益的収支の決算状況（税込み）

収入決算額	28億5,979万	298円
支出決算額	23億2,721万3,364円	
収支差引額	5億3,257万6,934円	

#### 2 資本的収支の決算状況（税込み）

収入決算額	6億6,189万	558円
支出決算額	16億7,431万	792円
収支差引額	△10億1,242万	234円

収入不足分は、損益勘定留保資金等で補てんしている。

- 下水道使用料の収納率は、現年度分97.0%で前年度比0.1ポイント減少、過年度分は83.2%で、前年度比6.9ポイント上昇した。
- 山田地区などでの汚水管渠整備を行った結果、30年度末の下水道の普及率は96.7%となり、前年度より0.1ポイント上昇。総延長580.3km、処理区域面積は2,613haとなった。
- 水洗化戸数の増加による有収水量の増加や降水量の影響が少なかったことによる不明水の減少により、有収率は86.4%となり前年度より1.6ポイント上昇した。

### 【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

## 第 68 号議案 令和元年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第 1 号）について

歳入歳出それぞれ604万円を増額し、1,002万3千円とする。

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

30年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、歳出で減債基金積立金を増額する。

### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

## 第 69 号議案 令和元年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）について

事業勘定は、歳入歳出それぞれ1億3,726万4千円を増額し、95億137万5千円とする。直営診療施設勘定は、歳入歳出それぞれ7万円を減額し、8,434万5千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 事業勘定の補正の主な内容は、歳入では30年度決算額の確定に伴い繰越金を増額し、歳出では国庫支出金等過年度返還金、繰出金、基金積立金を増額する。
- 2 直営診療施設勘定の補正の主な内容は、歳入では30年度決算額の確定に伴い繰越金を増額し、繰入金を減額する。歳出では償還利子の確定に伴い公債費を減額する。

**【審査結果】**

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

**第70号議案 令和元年度宗像市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について**

歳入歳出それぞれ1,731万9千円を増額し、16億9,634万2千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

30年度決算額の確定に伴い、歳入では繰越金を増額する。歳出では30年度分保険料確定に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金を増額する。

**【審査結果】**

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

**第71号議案 令和元年度宗像市介護保険特別会計補正予算（第1号）について**

保険事業勘定は、歳入歳出それぞれ2億1,321万2千円を増額し、82億2,530万3千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

歳入では30年度決算額の確定に伴い繰越金を増額し、介護保険事業費補助金を増額する。歳出では消費税率改定による報酬の改定などに伴う介護保険システム改修委託料を増額する。

**【審査結果】**

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

**第72号議案 令和元年度宗像市漁業集落排水処理施設事業特別会計補正予算（第1号）について**

歳入歳出それぞれ378万2千円を減額し、4億7,200万8千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

起債の借入額確定により公債費元金を増額し、公債費利子を減額する。また、30年度決算額確定に伴い繰越金を増額し、繰入金を減額する。

**【審査結果】**

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

**第73号議案 令和元年度宗像市下水道事業会計補正予算（第1号）について**

収益的収入及び支出において、収入を3,699万2千円減額し、収入総額を28億1,162万円に、支出を5,342万4千円減額し、支出総額を23億7,217万5千円とする。資本的収入及び支出において、30年度決算額の確定に伴い減債基金等で補てんする額を改める。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

補正の主なものは、30年度決算額の確定によるものである。

**【審査結果】**

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。